



みえ松阪マラソン2024

MIE MATSUSAKA MARATHON

公式記録速報



スタート場面
動画はこちら

2024年12月15日

発行:みえ松阪マラソン実行委員会
制作:タ刊三重新聞社

男子の部

リオ五輪キルギス代表

イリア選手が初優勝

2時間16分53秒でゴール!



女子は井野さんが制す

2時間43分56秒

トップでゴールする男子の部・イリア選手（右）と女子の部・井野選手＝松阪市山下町の市総合運動公園で

■男子の部で優勝したイリア選手のコメント「大会記録の更新を狙っていた。向かい風が強かったがアップダウンがあり、それがとても気持ちよかった。沿道で子供から大人まで応援してくれて町が一つになっている大会だったと感じた。40回目のマラソンを優勝で飾れたこともうれしー」

■女子の部で優勝した井野選手のコメント「久しぶりのフルマラソンで優勝できたことはもちろん、完走できてうれしかった。女子の集団に付いていくことを考えて走った。さすがに最後の坂がきつかったですが、この大会に向けて練習してきたので強い気持ちを持って走ることができた」

フルマラソン男子の部

女子の部

順位	名前	住所・所属	タイム
1	チャプキン・イリア	キルギス	2:16:53
2	田中 海吏	愛知県・中京大学	2:20:39
3	和田 壮平	徳島県・徳島市陸上競技協会	2:20:42
4	阿部 飛雄馬	東京都・滝沢市陸上競技協会	2:21:04
5	山地 伸哉	三重県・CRC42-2	2:21:35
6	川内 優輝	あいおいニッセイ同和損保	2:22:02
7	新田 雄大	三重県・team F.O.R	2:22:45
8	上杉 泰伸	三重県・皇學館大学	2:23:20
1	井野 光子	大阪府・リンクスタイル	2:43:56
2	松村 幸栄	コモディイイダ駅伝部	2:45:16
3	上野 智賀	三重県・team F.O.R	2:49:45
4	篠崎 理紗	千葉県・T・T-Athlete Club	2:55:19
5	吉川 マユミ	福井県・nrc	2:56:13
6	伊藤 明日香	三重県・サウルスジャパン	2:57:18
7	武士 純子	岐阜県・岐阜陸上競技協会	2:58:35
8	高橋 舞衣	コモディイイダ駅伝部	2:59:03

三重県内唯一のフルマラソン大会となる第3回の「みえ松阪マラソン2024」(みえ松阪マラソン実行委員会主催)が15日午前9時に開かれ、松阪市川井町のクラギ文化ホール(松阪市民文化会館)前を出発し、山下町の市総合運動公園までの42.195kmを9258人が駆け抜けた。男子はリオ五輪のマラソン競技でキルギス代表のチャプキン・イリア選手(33)が2時間16分53秒で初出場、初優勝。女子は大阪市平野区の会社員・井野光子選手(41)が2時間43分56秒で初出場初優勝した。コースは、殿町の松坂城跡や伊勢寺町の松阪農業公園ベルファームなどを巡りながら市内を一円。櫛田川沿いを走りゴールを目指す。日本陸上競技連盟(WA/AIMS公認)コース。県陸上競技選手権大会(三重陸上競技連盟主催)のフルマラソン種目も兼ねる。この日はフルマラソンの他にファンラン(5km)に640人、健康ウォーク(7km)に1005人の3部門で計1万903人がエントリー。ランナーたちはゴール直前の約300mの山を上り坂を最後の力を振り絞って駆け上がり完走した。沿道には多くの市民たちが集まり、走者の背中を声援で押した。

“激坂”最後の力走

ロックやDJ、よさこいで応援

松阪市山下町の市総合運動公園では朝早くから運営スタッフやボランティア、同公園が発着点になっているファンラン（5キロ）の部の出場選手らが続々と集まった。

ファンランはスタート後、約300メートルの坂を下り、櫛田川に沿って走り、2.5キロ地点を折り返して、ゴールがある同公園に戻ってくるコース。男子は、多気郡大台町管合の松阪市立宮前小学校教員・谷口大樹選手（40）、女子は桑名市森田のパートナー・稲葉恵理子選手（49）がそれぞれ優勝した。

また、松阪名物となったゴール直前の通称“激坂”では、今大会から、ランナーに最後の力を振り絞ってもらおうと、ロックコンサートや高校生DJブース、

よさこいなどを企画。高校生DJブースでは私立三重高校放送部の8人が応援ソングや、選手のコスプレに合わせた曲を流したり、選手名を呼び掛けるなどのオリジナルティー光る応援で盛り上げた。またゲストの瀬古利彦さんと野口みずきさんが選手たちを出迎えた。



クリスマスツリーのコスチュームで松阪駅前を走る女性ら＝京町で



沿道の応援を受けて中心商店街を駆け抜けるランナーたち＝日野町で



午前9時の号砲で一斉にスタートするフルマラソンの部の選手たち＝川井町で



会場を盛り上げる三重高校放送部によるDJブース＝山下町の市総合運動公園で



フルマラソンの部スタート動画はこちら

ファンラン(5キロ)の部

男子の部

順位	名前	住所・所属	タイム
1	谷口 大樹	三重県・大台陸上クラブ	0:15:51
2	大久保 利哉	三重県・愛知県庁クラブ	0:16:02
3	古川 聖弥	愛知県・カゴメ	0:16:08
4	青木 亮太郎	大阪府・河南陸上クラブ	0:16:49
5	嘉流 弘祥	愛知県・愛知医科大学病院	0:16:49
6	坂本 剣真	三重県	0:16:50
7	小林 弘典	三重県	0:16:53
8	河村 侑	三重県	0:17:08

女子の部

順位	名前	住所・所属	タイム
1	稲葉 恵理子	三重県	0:19:14
2	上村 柚貴	愛知県・雁が音スポーツクラブ	0:19:18
3	堀木 温子	三重県	0:20:51
4	今村 円香	京都府・京都産業大学	0:21:04
5	山田 わか奈	愛知県・横山興業株式会社	0:21:19
6	寺尾 あや子	三重県	0:21:27
7	山川 晶子	三重県・百五銀行	0:21:53
8	初鹿野 真澄	奈良県	0:22:21

ファンラン(5キロ)

谷口選手(男子)、稲葉選手(女子) V



ファンラン男子優勝の谷口選手（左写真）は「やはり最後の坂が苦しかったですが、沿道の応援などが聞こえてきて力になりました」、女子で優勝した稲葉選手は「いつも最後の坂で失速していたので、今回こそ最後まで走り切ろうと挑戦しました。応援の声が背中を押してくれました」と話した。



クリスマスの衣装で踊るキッズダンスの応援を受けて走るランナーたち



約640人が一斉にスタートしたファンラン＝いずれも山下町の市総合運動公園で

大会ゲスト

瀬古 利彦さん



1956年7月15日生まれ、三重県出身。名実ともに日本長距離界、マラソンブームを牽引してきた第一人者。現役時代は国内外のマラソンで戦績15戦10勝。圧倒的な強さを誇る。ロサンゼルス五輪、ソウル五輪男子マラソン日本代表。現役引退後は指導者の道に進み、オリンピック選手を3名輩出するなど後進の育成に注力した。現在は「横浜DeNAランニングクラブ エグゼクティブアドバイザー」として活動中。

野口 みずきさん



1978年7月3日生まれ、三重県出身。2002年名古屋国際女子マラソンで初マラソン初優勝を飾り、03年パリ世界選手権で銀メダルを獲得し、五輪代表に内定。2004年アテネ五輪女子マラソンで金メダルを獲得し、2大会連続の日本人金メダルをもたらす。2005年ベルリンマラソンでアジア記録、日本記録（2時間19分12秒）を更新して優勝。東京五輪の日本人最初の聖火ランナーを務める。